

わが国初の近代水道として
横濱が明治20年(1887年)
に給水を開始して以来、今年
で122年。当時の横濱はわ
ずか100戸をそここの静か
な村だったという。続いて明
治22年(1889年)に函館、

府知事が、助役の職務は書記官が行う、特
例の体制がとられた。
背景は都市部の地主や養蚕業などの有産
者つまり納税層の比率の低さ。自治権を与
えられなかったこれら三大都市の市民は特
例廃止運動を起こす。これが奏功して明治
31年(1898年)に特例が廃止され、他
都市と比肩するに至った。

目が大還暦であり、近代水道は各地で地方
自治制度ともども大還暦に入りつつある。
水道の来し方は、利水不調、地震や戦争
の災禍、洪水、水害、経済の激動、世の理
解不足など、曲折の不連続線である。しか
し、臆せず立ち向かった先達の、時に生
涯をかけた精進が結果し、戦後の高度成長
期以降はとりわけ安全な水の安定供給によ
って信頼が持続されている。引き続き、膨
大な人、資金、資材を投入し、手間暇を惜
まず培ってきた施設や技術、経営手腕に

度の水道予算概算要求は、総体で前年度比
15%減。その中でも水道水源開発は同50%
とかつて無い大幅減で、首都圏1都5県の
最後の水方々、八ッ場ダム建設中止や、
全国6カ所のダムでの利水関連工事中止
が絡む。

道に係わる説明はゼロである。10月15日の
概算要求再提出の後も、要求内容の説明は
聞かれない。10月26日の鳩山総理大臣によ
る、公共事業の必要性を見直し、地震に万
全の備えをする、との臨時国会冒頭演説が
要求説明なのか。各地の水道事業体が来年
度の業務計画や予算を展望する重要な時期
を迎えている中、情報が乏しく先行きが不
透明である。

一層磨きをかけて

市制施行により、各地でじわじわと近代

化が進み、水道創設二一又は着実に都市間
に浸透した。これら各都市は堅実な運営に
よって水道事業を推進し、今や日本水道協
会の骨組みを支え、協会活動のさまざまな
局面で活躍する。

国民的見地に立った水道未普及地域の解
消や、簡易水道の再編、生活基盤の近代化、
将来にわたり水道への信頼を強化する水道
広域化は軒並み減額である。耐震性改善運
動を支えるライフライン機能強化の23%増

無血の平成維新と自負する政権交代で多
忙ではあるが、仕事は何であれ忙しいの
が当たり前。なぜ、水道の源である利水を
切るのか、水道耐震化を強力に促進できる
広域化を減額するのか、きちんと説明責任
を果たすべきである。水道を激甚災害法の
対象にと求める永年の要望への答も、せひ
聞きたい。

法律第1号の31市

横濱から函館へと水道バトンが渡る中、
明治21年に地方自治法の原型である法律第
1号が制定され、翌22年に弘前、秋田、盛
岡、仙台、山形、米沢、新潟、水戸、横濱、
静岡、高岡、富山、金沢、福井、津、京都、
大阪、堺、和歌山、神戸、姫路、松江、広
島、高知、赤間関(下関)、福岡、久留米、
佐賀、長崎、熊本、鹿児島各地で市制が
施行された。市制施行31市の誕生である。

明治政府は法律第1号によって市町村を
独立した法人と定め、国とは別の自治体と
した。ただし、東京、大阪、京都では市制
が部分的にしか適用されず、市長の職務は

洋の東西を問わず、60年をもって一区切
りの還暦とする発想は人智に共通する。出
生の歓びを想い、来し方の無事を祝い、過
不足を検証して行く末の安寧(あんねい)
を願う。エリザベス女王の還暦は英国を挙
げて盛大だったと伝わる。還暦のふた回り

一層の磨きをかけて、行く末の信頼の持続
を図る取組みこそ、大還暦に入った水道界
に課せられた使命である。

驚天動地の要求内容は、「水道の布設及
び管理を適正かつ合理的ならしめ、水道を
計画的に整備し、水道事業を保護育成する
ことによつて、清浄にして豊富低廉な水の
供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の
改善とに寄与する」水道法と、どう整合す
るのか。

間もなく堺市で開かれる第78回日本水道
協会総会でも、例年と異なり会員提出問題
に対する国の各省による見解説明は無いと
いう。新政権の誰かが説明するのか。なら
ば、せひ、ご足労を願ひ、水道水を飲みな
がら、率直にこれからの水道の使命を語り
合いたいものだ。市制施行大還暦の31市は
もちろん、全国の自治体から参集した腕に
覚えの水道関係者と、生真面目で誠実な水
道関連企業のスタッフが待っている。

水道大還暦を超えて

異形の不安要素が

しかし、早くもその使命を揺るがしかね
ない異形の不安要素が出現した。他ならぬ
今年8月末の総選挙によって誕生した民主
党政権による水道、ないし水に対する施策
姿勢である。

新政権の指令によって再提出された来年
そもそも、民主党のマニフェストでは水

説明責任を果たせ